

学校再開！新しいくらしかたを



中庭のアジサイが次々に花開き、梅雨の季節がやってきました。休校が続き、ひっそりと静まり返っていた学校にも子どもたちの元気な姿がもどり、学校全体が活気に包まれています。今週からは普段どおりの時間割で、どの学年も遅れていた学習を一生懸命進めています。

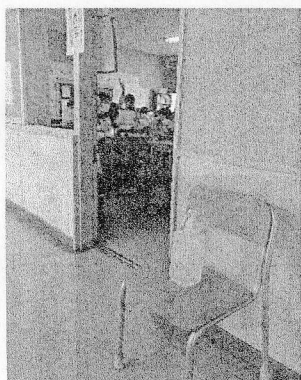
ただ、学校は再開しても新型コロナウイルスがなくなったわけではありません。感染を予防するために様々なことに気をつけて新しいくらしかたを身につけていく必要があります。手洗いの徹底やマスクの着用はもちろん、大勢の子どもたちが一緒に生活する場では様々な配慮が必要です。学習形態や座席の工夫、教室の消毒など、御野小学校でも様々な取り組みを継続しています。友達とは近づきすぎない、室内では大



中庭に美しく咲いたアジサイの花

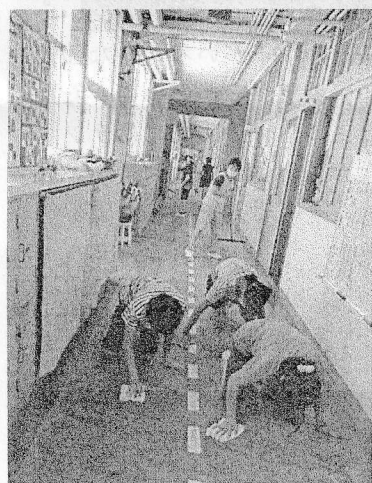
声を出さない、ということなども徹底したいところです。先日の全校朝会（テレビ放送）では、子どもたちに2つの言葉を伝えました。「距離はやさしさ」「無言は思いやり」周りにいる人と適切な距離を保つことがやさしさであり、近くで大声を出さないことが相手への思いやりになるという意味です。感染予防のためにしなければならないことはたくさんありますが、あれもだめ、これをしなさい、と大人がコントロールするのではなく、子どもたち自身が自分で考えて感染予防のための行動がとれるようになることが重要だと考えています。「新しいくらしかた」は窮屈で大変ではありますが、自分を大切にすることが、周りの人も大切にすることになるという意識を高めていこうと思います。

1学期が7月31日まで延長され、プールでの学習もなくなるなど、次々に予定の変更があり先が見通せない毎日の中で、子どもたちの健康と心の安定に最大限配慮しながら、学校生活を前へ進めていきたいと思っています。



教室の入口には消毒用アルコール

動き出した時間



掃除の後には手洗いも忘れません

休校の間、ずっと止まっていた子どもたちの活動がやっと動き始めました。

掃除当番もずいぶん長い間でできていませんでしたが、先週から始動。新しい担当場所を熱心にきれいにしています。職員室前の古いコンクリート製の廊下でも、6年生がそれは丁寧に掃除をしてくれています。手際よくほうきで掃いた後、ひざまずいて黙々と床をふく姿の格好いいこと。無言で「ジャッ、シャ」と雑巾の音だけが響く様子はさすが最高学年、全校のお手本です。



階段も一段ずつ丁寧に掃いていきます



円形の花壇は皆で植え方を考えて

5・6年の児童による委員会活動も始まりました。中庭の花壇では、栽培委員会がサルビアやマリーゴールドの苗を一株ずつ丁寧に植え、花壇も夏仕様に衣替え。すっかりきれいになりました。色鮮やかな夏の花が咲きそろうのが今から楽しみです。